令和6年第2回清須市議会臨時会会議録

令和6年11月11日第2回清須市議会臨時会は清須市議会議事堂に招集された。

1. 開会時間

午後 3時30分

2. 出席議員

1番	伊藤奈美	2番	浅妻奈々子
3番	齊藤紗綾香	4番	土本千亜紀
5番	松岡繁知	6番	山内徳彦
7番	富田雄二	8番	松川秀康
9番	大塚祥之	10番	小崎進一
11番	飛永勝次	12番	野々部 享
13番	岡山克彦	14番	林 真子
15番	加藤光則	16番	高橋哲生
17番	伊藤嘉起	18番	久野 茂
19番	浅井泰三	20番	成田義之
21番	天野武藏		

計 21名

3. 欠席議員

なし

4. 地方自治法第121条の規定により会議事件説明のため出席した者は次のとおりである。

市	長	永田純夫		
副市	長	葛谷賢二		
教	育	長	天埜幸治	
企	画	部	長	河口直彦
総	務	部	長	岩田喜一

危機管理部 長	飯田英晴
市民環境部 長	石田隆
健康福祉部 長	丹羽久登
建設部 長	長谷川久高
会計管理者	三輪好邦
教育部 長	石黒直人
監査委員事務局 長	吉田敬
企画部次長兼企画政策課 長	林智雄
総務部次長兼総務課 長	檜本雄介
総務部次長兼収納課 長	辻清岳
危機管理部次長兼危機管理課 長	舟橋監司
市民環境部次長兼生活環境課 長	松村和浩
健康福祉部次長兼児童保育課 長	吉野厚之
健康福祉部次長兼健康推進課 長	古川伊都子
建設部次長兼新清洲駅周辺まちづくり課 長	前田敬春
人事秘書課 長	岡田善紀
財政課 長	服部浩之
財産管理課 長	所邦治
高齢福祉課 長	石田嘉子

5. 本会議に職務のために出席した者の職、氏名

議会事務局 長	後藤邦夫
議会事務局次長兼議事調査課 長	鹿島康浩
議事調査課係 長	炭竈愛子

6. 会議事件は、次のとおりである。

- 日程第 1 会議録署名議員の指名について
- 日程第 2 会期の決定について
- 日程第 3 議案第 53 号 令和 6 年度清須市一般会計補正予算（第 4 号）案

(傍聴者 0名)

(時に午後 3時30分 開会)

議 長 (岡山 克彦君)

それでは、定刻になりましたので、令和6年第2回清須市議会臨時会を開会いたします。

ただいまの出席議員数は、21名でございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりでございます。

日程第1、「会議録署名議員の指名」を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第80条の規定により、3番齊藤議員、4番土本議員を指名いたします。

日程第2、「会期の決定について」を議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議 長 (岡山 克彦君)

異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は、本日1日間とすることに決定いたします。

日程第3、議案第53号「令和6年度清須市一般会計補正予算(第4号)案」につきましては、提案理由及び内容の説明を受けた後、委員会付託を省略し、本会議で質疑、討論を行い、採決することが議会運営委員会で決定しております。

これに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議 長 (岡山 克彦君)

異議なしと認めます。

よって、ただいま申し上げた方法で行うことに決定いたします。

日程第3、議案第53号を議題といたします。

市長より提案理由の説明を求めます。

説明は、発言席でお願いいたします。

永田市長。

< 市長（永田 純夫君）登壇 >

市長（永田 純夫君）

今日は、令和6年第2回清須市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、公私とも御多忙の中、御出席を賜り厚くお礼申し上げます。

それでは、本臨時会の付議事件につきまして提案理由を御説明いたします。

議案第53号「令和6年度清須市一般会計補正予算（第4号）案」につきましては、清須市役所庁舎増築・改修工事において入札が不調となったことから、市場の価格動向を反映し、早期に工事を進めるため、債務負担行為の補正を行うことについて、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

以上、簡単ではございますが、提案理由の説明とさせていただきます。

詳細につきましては、担当者から説明させますので、十分に御審議の上、御賛同賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

議長（岡山 克彦君）

続いて、総務部長より内容の説明を求めます。

説明は、発言席でお願いいたします。

岩田総務部長。

< 総務部長（岩田 喜一君）登壇 >

総務部長（岩田 喜一君）

総務部長、岩田です。

議案第53号について御説明します。

それでは、タブレットのmoreNOTEの設定を1画面表示にさせていただき、令和6年度一般会計補正予算書の1ページを御覧ください。

議案第53号

令和6年度清須市一般会計補正予算（第4号）

令和6年度清須市の一般会計補正予算（第4号）は、次に定めるところによる。

第1条、債務負担行為の補正です。

債務負担行為の変更は、「第1表 債務負担行為補正」による。

令和6年11月11日提出

清須市長、永田純夫

2 ページを御覧ください。

第1表、債務負担行為補正、本庁舎整備事業の変更です。

市役所庁舎増築・改修工事において入札不調となったことから、市場の価格動向を反映し、早期に工事を進めるため、債務負担行為の補正を行うものです。

補正前は限度額35億9,280万円を計上していましたが、限度額を1億9,574万円増額し、補正後の限度額を37億8,854万円とするものです。

議案第53号の説明は、以上です。

議長（岡山 克彦君）

これより質疑、討論を受けますが、議員の質疑及び当局の答弁は、挙手をし、議長の許可を得てから、自席で議席番号と名前、役職名を述べてから、それぞれ行ってください。

また、討論については、挙手をし、議長の許可を受けた後、発言席でお願いいたします。

議案第53号に質疑のある方の挙手を求めます。

加藤議員。

15番議員（加藤 光則君）

議席番号15番、加藤光則です。

今、御説明、提案理由を述べられました。入札不調ということで落札者が決まらなかったということではありますが、今、提案の中で市場価格の動向ということが言われたわけですが、もう少し詳しくその原因、内容を伺いたいと思います。

議長（岡山 克彦君）

所課長。

財産管理課長（所 邦治君）

財産管理課長、所です。

設計につきましては、建設物価の刊行物や見積り等の最新単価を採用しております。その単価で積算を行ったものであり、適切な積算と考えておりますが、しかしながら、設計完了直後、設計の完了が9月末でしたので、10月末の入札までの1か月間、こちらのほうで建物の主要資材の高騰、労務単価の上昇などが顕著であり、設計会社並びに設計補助を行っている愛知県住宅供給公社でさえ予見し難い価格の変動が生じたことにより、予定価格と入札額に開きが生じてしまい、入札不調という結果になったものと考えております。

以上です。

議長（岡山 克彦君）

加藤議員。

15番議員（加藤 光則君）

今、入札不調の中身を若干詳しく述べていただきました。それで、落札結果は、電子入札でインターネット等の結果を見ると、そこには取止め中止という文言が書いてあったんですけども、一般的にこういう書き方だと、入札工事資料の不備などを理由に発注機関側が入札手続を取り下げていく、こういうことが多いわけですけども、今回の場合は不調ということを言われておるんですけども、取止め中止とこの不調についてはどういうふうを考えていったらいいのか質問します。

議長（岡山 克彦君）

所財産管理課長。

財産管理課長（所 邦治君）

今回は、あくまでも落札額による不調というふうに考えておきまして、取止め不調というものには該当しないというふうに考えております。

以上です。

議長（岡山 克彦君）

加藤議員。

15番議員（加藤 光則君）

そしたら、もう少し聞きます。

この落札日が10月31日午前9時予定だったわけですけども、参加申込は5月25日まででありました。この時点で、申込者があったのかどうなのか、それから、29日の入札書及び工事内訳書の提出時点ではどうだったのか、その時の状況を教えていただきたい。

議長（岡山 克彦君）

所財産管理課長。

財産管理課長（所 邦治君）

10月の参加申込が25日までということで、この段階では1社来ておりました。結局、最終的にも1社のみでございました。ただ、1社ではありましたが、一般競争入札ということで競争性はあったものと認識しております。

以上です。

議 長（岡山 克彦君）

加藤議員。

15番議員（加藤 光則君）

1社だったけれども、今回ある意味不調ということを取ったわけですけれども、この1社入札を無効ということで考えられた。一般的には、競争入札の目的は公平性・公正性・経済性、この三つを加味備えたもので行政が行っていくということが言われておるんですが、今回の場合の不調というのは、どういう理由だったのか、再度お聞きします。

議 長（岡山 克彦君）

所財産管理課長。

財産管理課長（所 邦治君）

予定価格より入札金額のほうが超過していたための不調でございます。

以上です。

議 長（岡山 克彦君）

加藤議員。

15番議員（加藤 光則君）

超過していたということで不調だということを言われました。ということは、この電子入札の所の入札結果の金額の所で、33億8,000万円という入札の記載金額の1回目の所で書かれておるわけですけれども、今回は34億円でありましたけれども、この辺はどう見たらいいんでしょうか。

議 長（岡山 克彦君）

所財産管理課長。

財産管理課長（所 邦治君）

入札額が税抜きで33億8,000万円ということで、先ほども申し上げましたとおり、2億80万円とこちらのほうの金額よりも超過しておりましたので、不調という形にさせていただいております。

以上です。

議 長（岡山 克彦君）

加藤議員。

15番議員（加藤 光則君）

分かりました。

それから、今年度庁舎整備委託料を見ると設計業務が3,036万3,000円、これ以外に市役所庁舎増築の改修工事設計業務に伴う発注者支援業務、これが750万1,000円支払われているわけであります。予見し難い変動だということで先ほど不調の理由を述べられたわけですが、この支援業務、先ほどもいろいろな業者名を述べられましたが、実勢価格と市場価格とは乖（かい）離が生まれたわけですが、これだけのお金を払っていても予見し難いということについては、どういうふうに担当当局は考えられておるのか質問します。

議長（岡山 克彦君）

所財産管理課長。

財産管理課長（所 邦治君）

議員の申されるとおり、設計会社と清須市との間で愛知県住宅供給公社というものが、いわゆる設計の管理というものを入ってもらっております。設計業者のほうもプロですし、愛知県の供給公社のほうもプロということで、私どもと設計会社との間にもう一つプロが入っていて、結果的にこういう状態だったわけです。こちらの方は、これしかないんですが、物価のですね、資材単価の高騰とか労務費の高騰、こういうものというのが本当に月ごとに上昇していつている状況だそうです。元請の方も下請を集めることができないということも聞いております。今こういう御時世なんで、こういうことが起こってしまったのかなというふうには思っております。

以上です。

議長（岡山 克彦君）

加藤議員。

15番議員（加藤 光則君）

非常に大変だということ等は、理解するわけであります。

入札に関する事項を見ると、調査基準価格ありということも書かれていますし、それから、設計の基本となる専門用語でいう歩掛ですね、正確な積算や見積り達成のための計算、いろいろこういうのを用いられてやられたと思うわけでありますが、しかし、これだけの追加の費用が必要になったというわけでありますので、しっかりその辺、再度取り組んでいただきたいと思います。

それから、続いて、債務負担行為の補正についてお聞きしたいわけであります。

価格競争でそういう取りやめにしても、再度、予定価格や仕様書なんかを見直して複数の業者が入札できるように見直しをしていくということで債務負担行為を補正されたわけですが、この

増えた1億9,574万円の中身については、どういうふうになっておるのか質問します。

議長（岡山 克彦君）

所財産管理課長。

財産管理課長（所 邦治君）

増えました1億9,574万円のうち、1億9,500万円を合併特例事業債の増加で対応しようと考えております。残額の74万円を一般財源で賄うということになると思われま

以上です。

議長（岡山 克彦君）

加藤議員。

15番議員（加藤 光則君）

分かりました。

この増えた額というのは、冒頭言われたように、市場価格云々の動向の部分だという理解でよろしいわけですね。

議長（岡山 克彦君）

所財産管理課長。

財産管理課長（所 邦治君）

所です。

そのとおりでございます。

議長（岡山 克彦君）

加藤議員。

15番議員（加藤 光則君）

それで、今言われた1億9,000万円と574万円を分けられた内容が明らかになったわけですが、今後の発注は、どういうふうに決めていくのか、今日の議決を待って今後どうい

議長（岡山 克彦君）

所財産管理課長。

財産管理課長（所 邦治君）

財産管理課長、所です。

今後の発注方法といたしましては、前回同様になるんですが、総合評価の競争入札試行要領に

基づき、前回同様の総合評価落札方式の一般競争入札で入札をかけたいというふうに考えております。

本日この議場でお認めいただけましたら、早速、公告のほうに入らせていただきたいというふうに思っております。スケジュールのほうなんです、本日、臨時議会でお認めいただいて、すぐに公告、ちょっと期間はありますけれども、11月中に入札、落札者を決定いたしまして、11月の下旬に仮契約、12月20日に12月議会の定例会最終日に契約議案を上程、議決のほうをお願いできたらなというふうに思っております。

年が明けますと、今度は近隣住民の方に対しての説明会を開こうと思っております。1月の上旬に住民説明会、あくまでも予定なんです、その後に工事着手をしまして、令和8年3月末までに完成のほうをさせたいと思っております。

以上です。

議長（岡山 克彦君）

加藤議員。

15番議員（加藤 光則君）

ということは、今お聞きしたことを整理すると、新規の入札ではなくて再度公告入札という考えでいいのかなのか、通常の10日入札公告だと、短い再度だと5日になるとかということもあるわけですが、今の日程を聞くとまた違うのかなと思うんですが、どういう理解をしたら法令上はいいのか質問します。

議長（岡山 克彦君）

所財産管理課長。

財産管理課長（所 邦治君）

総合評価の落札方式ですね、前回と同じ入札方法、こちらのほうを考えております。そうしますと、公告入札、落札者決定で、11月の後半ぐらいまではかかるんじゃないかというふうに思っております。

以上です。

議長（岡山 克彦君）

加藤議員。

15番議員（加藤 光則君）

中身もう一回確認します。大きな変更はないという理解でいいですね。

議長（岡山 克彦君）

所財産管理課長。

財産管理課長（所 邦治君）

もう一度設計のほうを見直して、再度入札にかけるということになっております。物価上昇分が当然出てきておりますので、その金額を上乗せした金額で入札のほうをかけさせていただきます。

以上です。

議長（岡山 克彦君）

加藤議員。

15番議員（加藤 光則君）

分かりました。再度やるということを確認しました。

最後に言いたいわけですが、債務負担行為、これは、一般的には別の呼び方ではローンを組むということも言われているわけです。今回、約2億円弱ですね。もし、この予算に関する説明書の債務負担行為の限度額等が今回のように物価上昇等で乖（かい）離しているとなると、将来の財政負担を見誤ることもなる可能性も否定できないわけでありまして。そうなれば、起債の計画等を含んだ政策の意思決定に少なからず影響も及ぼしていく可能性もあるわけでありまして、現実的な次年度以降の予算の策定作業、このための数値の把握等をしっかりやっていただくということをお願いしたいわけでありまして。

限られた財源で最大の成果を上げる、こういうことが大事でありますので、計画的かつ効率的な執行を行っていく、このことに努めていくことはもちろんのことではありますが、先ほど述べられましたけれども、市民の皆さんに説明責任が果たせるよう適正な予算執行に務められることを最後に申し述べて私の質疑を終わりたいと思います。

以上です。

議長（岡山 克彦君）

他に質疑のある方の挙手を求めます。

高橋議員。

16番議員（高橋 哲生君）

16番、高橋でございます。

再度確認なんですけど、設計の内容に変更はないですか。

議 長（岡山 克彦君）

所財産管理課長。

財産管理課長（所 邦治君）

設計書の中の単価の見直しを行っております。物価上昇に合わせた単価の見直しを行っておりますので、何かがどこかを変えたとか何かを追加したとか、そういうものではございません。

以上です。

議 長（岡山 克彦君）

高橋議員。

16番議員（高橋 哲生君）

ありがとうございます。

あとですね、以前、構想案のほうで実質負担額というものが出てたと思うんですけど、そこらは、何か変わるのでしょうか。

議 長（岡山 克彦君）

所財産管理課長。

財産管理課長（所 邦治君）

基本構想の時は、実施設計の時に比べて面積、金額等は当然変わっております。基本構想時の面積で3,100平米、実施設計完了時の面積で3,767平米ということで、約670平米でしょうか、こちらのほうがちょっと増えております。金額にいたしますと、基本構想時で31億1,000万円で、実施設計時で35億9,000万円ということで4億8,000万円。これは何かと申し上げますと、基本構想時は北館と西館の各階の連絡通路や、いわゆる西館にバルコニーが付くんですが、バルコニーが未設置で計画をされたということでございます。これでよろしいでしょうか。

議 長（岡山 克彦君）

高橋議員。

16番議員（高橋 哲生君）

今回また増額して実質負担というのは、結局、最終的にはどうなるんですか。

議 長（岡山 克彦君）

所財産管理課長。

財産管理課長（所 邦治君）

先ほど申し上げましたように、何かを変えるということはございませんので、いわゆる工事費の部分で1億9,574万円というのが、物価上昇の増額分ということでございます。

以上です。

議長（岡山 克彦君）

高橋議員。

16番議員（高橋 哲生君）

実質負担は、計算はできないのかね。前、出てたのは。

議長（岡山 克彦君）

岩田総務部長。

総務部長（岩田 喜一君）

総務部長、岩田です。

実質負担額につきましては、今回、合併特例債が1億9,500万円増えて、一般財源が74万円負担するというので先ほど御答弁申し上げました。それについて償還額については、25年償還で今予定しておりますけども、単年度で960万円増えることとなりますけども、一方で基準財政需要額の算入額も670万円ほどありますので、単年度で300万円ずつ増えたということで、それが25年続くということで、実質負担額はその分が増えるということで、財政課としましては、そのような形で予定して償還していきたいと考えております。

以上です。

議長（岡山 克彦君）

高橋議員。

16番議員（高橋 哲生君）

計算すると、どんなふうになるんですか。

議長（岡山 克彦君）

服部財政課長。

財政課長（服部 浩之君）

財政課長、服部です。

先ほど1億9,500万円、合併特例債が増額するというお話をさせていただきました。このうち、7割が交付税の基準財政需要額に算入される。3割が市の実質負担ということで約6,000万円弱、5,850万円が実質負担増加すると見込まれます。

以上です。

議 長（岡山 克彦君）

高橋議員。

16番議員（高橋 哲生君）

分かりました。

議 長（岡山 克彦君）

ほかに。

これで質疑を終了いたします。

討論に入ります。

最初に、反対討論のある方の挙手を求めます。

（ 「なし」の声あり ）

議 長（岡山 克彦君）

続いて、賛成討論のある方の挙手を求めます。

（ 「なし」の声あり ）

議 長（岡山 克彦君）

これで討論を終結いたします。

採決に入ります。

議案第53号に賛成の方の起立を求めます。

< 起 立 多 数 >

議 長（岡山 克彦君）

ありがとうございます。

起立多数でございます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

以上で、本日の議事日程は、全て終了いたしました。

これをもちまして、令和6年第2回清須市議会臨時会を閉会といたします。御苦労さまでした。

（ 時に午後 3時56分 閉会 ）

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

令和6年11月11日

議 長 岡 山 克 彦

副 議 長 富 田 雄 二

署名議員 齊 藤 紗 綾 香

署名議員 土 本 千 亜 紀